

統合報告書 2025

水・大地・空気を未来につなぐ



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



株式会社ミダックホールディングス

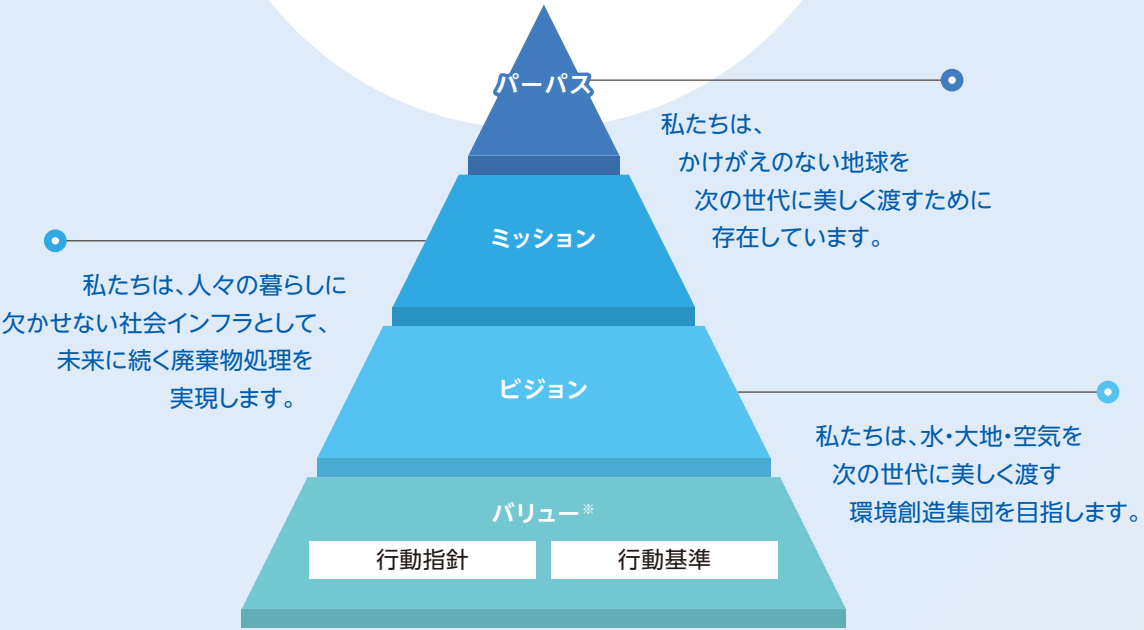


※「ミダック」という社名は、
環境を象徴する「水」・「大地」・「空気」の
頭文字に由来しています。

水・大地・空気を未来につなぐ

経営理念

ミダックグループは、水と大地と空気そして人、すべてが共に栄える
かけがえのない地球を次の世代に美しく渡すために、
その前線を担う環境創造集団としての社会的責任を自覚して、
地球にやさしい廃棄物処理を追求してまいります。



※「行動指針」「行動基準」についての詳細は当社HPをご参照ください <https://midac.jp/company/philosophy.html>

環境問題が年を追うごとに深刻さを増しています。私たちミダックグループは、社会を支えるエッセンシャルワーカーとして、その使命を果たすべく、「廃棄物処理」を本業に据え、環境問題に真正面から取り組んでいます。私たちの「経営理念」には、その強い決意が込められています。

また、私たちは、この「経営理念」の実現を目指して、「パーパス」「ミッション」「ビジョン」そして、社員の行動指針や行動基準を記した「バリュー」を明確化し、ミダックグループの理念体系の再構築を行いました。

私たちは、環境を象徴する「水」・「大地」・「空気」の頭文字に由来するミダックという社名と共に歩み続けます。そして、常に時代の要請を敏感に感じ取りながら、かつ、地域社会にしっかり寄り添いながら、引き続き、かけがえのない地球を次の世代に美しく渡すために、その最前線を担う環境創造集団として、地球にやさしい廃棄物処理を追求してまいります。

CONTENTS

第1章 理念経営	
私たちの理念経営 ① 理念体系	01
私たちの理念経営 ② マネジメントの視点	03
私たちの理念経営 ③ 環境インフラとしての取り組み	05
第2章 マネジメントメッセージ	
社長メッセージ	07
取締役経営企画部長メッセージ	13
監査等委員メッセージ	15
第3章 価値共創	
私たちの価値共創プロセス	17
価値共創の源泉 ～ ビジネスモデルの特徴・強み	19
価値共創のエンジン ～ 長期ビジョンと中期経営計画	21
特集 最終処分場の優位性拡大の進捗	23
価値共創のステージ ～ 私たちを取り巻く経営環境	25
第4章 サステナビリティ	
サステナビリティ経営	27
環境への取り組み	31
人材への取り組み	35
安全衛生への取り組み	39
サプライチェーンマネジメント	41
地域社会への貢献	43
特集 トップ対談	45
コーポレート・ガバナンス	47
株主・投資家の皆様との関わり	50
役員紹介	51
第5章 基礎情報	
ミダックグループのあゆみ	53
財務・非財務ハイライト	55
10か年業績・財務サマリー	57
会社情報・株式情報	59

■ 編集方針

本統合報告書は、ミダックホールディングスの企業理念やビジネスモデル、財務・非財務の取り組みを一体的にお伝えし、当社の持続的な価値創造への道筋をステークホルダーの皆様と共有することを目的に編集しています。また、2022年に策定した長期ビジョン「Challenge 80th」に基づいた中長期的なビジョンを中心に、当社グループの成長戦略を分かりやすく示すことも重視いたしました。読者の皆様との建設的な対話を通じ、より良い未来の共創につなげてまいります。

ミダックの経営陣は皆、 徹底した「利他主義」の考え方に立った経営に、 真摯な姿勢で取り組んでいます。

人々の生活に欠かせない エッセンシャルワーカーとして

代表取締役社長 **加藤 恵子**

人々の暮らしは未来へとつながっています。その意味で、私たちは、地域社会の皆様から、未来を託していただけるようなエッセンシャルワーカーとして、持続可能な社会の実現に貢献していかなければならないと思っています。利他主義に基づいて地域社会と密接に連携し、次世代への責任を果たしながら事業を展開することで、企業価値の持続的向上を図ってまいります。そして、そうした取り組みの主体である社員は皆、エッセンシャルワーカーとしての強い自覚を持って業務にあたっているものと自負しております。



循環型社会実現 のための 静脈産業の担い手

専務取締役 **熊谷 裕之**

廃棄物処理事業は「社会の公器」としての性格が強く、利他主義に基づく理念経営を推し進めていく必要があります。当社は、廃棄物の適正処理と環境保全を最優先とした事業活動を通じて循環型社会の形成に貢献し、静脈産業として経済活動の裏方を担うことで、この利他主義の実践を図っています。今後においても、地域社会との連携を強化し、かけがえのない地球を次の世代に美しく渡すため、環境への配慮と安心・安全を重視した事業活動を展開してまいります。



地域社会の 環境を守る 最後の砦

取締役 **武田 康保**

私たちは、次世代の社会インフラ、環境インフラの構築を使命とし、その拡充と整備に真摯に取り組んでまいりました。これからも先端技術を有する産学官との協業を深化させ、サーキュラーエコノミーの推進を見据えながら、持続可能な社会の実現に資する地球環境にやさしい処理プラントの整備を進めてまいります。私たちは、地域社会の環境を守る「最後の砦」としての自覚を胸に、利他主義に基づく経営の実践者であり続けます。



環境を“守る”から “創造する”へ

取締役 **高田 廣明**

経済成長や人口増加、地球温暖化による気候変動などで、環境問題は深刻化し、企業はサステナビリティ課題への対応が迫られています。このような状況のもと、当社グループは、上場会社としての社会的責任を自覚するとともに、廃棄物の適正処理を担う環境創造集団として、持続可能な循環型社会を構築するための成長投資を続けております。引き続き「Challenge 80th」の実現に向けて邁進するとともに、安定した配当や株価の持続的な成長を通じて、企業価値の向上を目指してまいります。



次の世代への 責任を果たす！

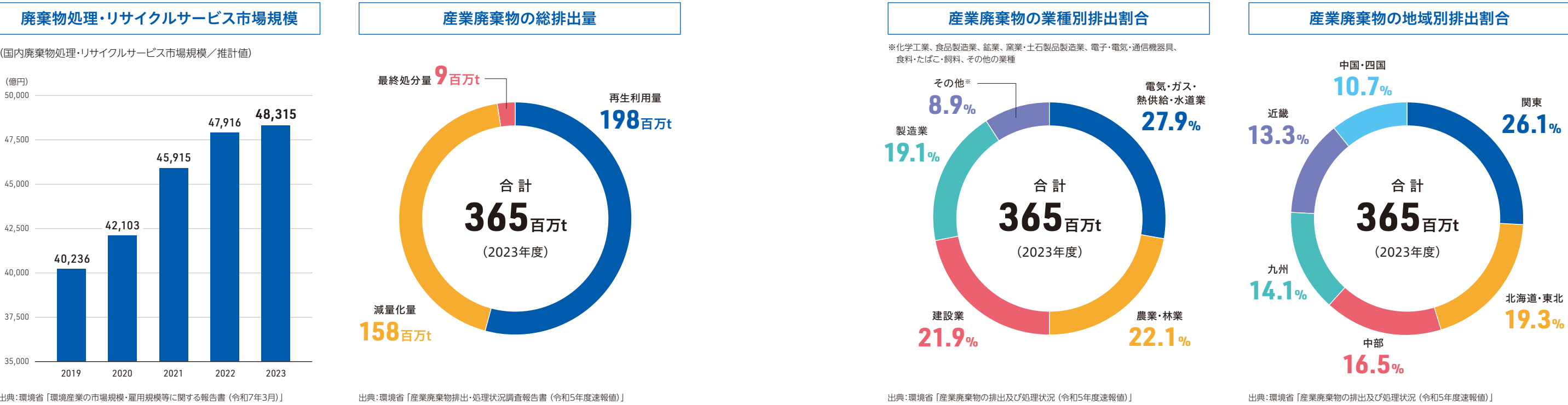
取締役 **鈴木 清彦**

廃棄物の適正処理や産学官連携による研究開発を通じて、「次の世代への責任」を果たしてまいります。当社は環境関連法規制の遵守を経営上の重要課題と位置づけ、廃棄物の適正処理を通じて皆様の生活環境を衛生的に保つ重要な役割を担っています。また、廃棄物の処理過程で発生するCO₂を抑制するためにも、産学官連携によってCCS・CCUS技術の確立を目指しています。引き続き環境保全に関する研究も推し進めることで、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

環境創造集団として、地域社会をはじめとしたステークホルダーとの価値共創を推し進める



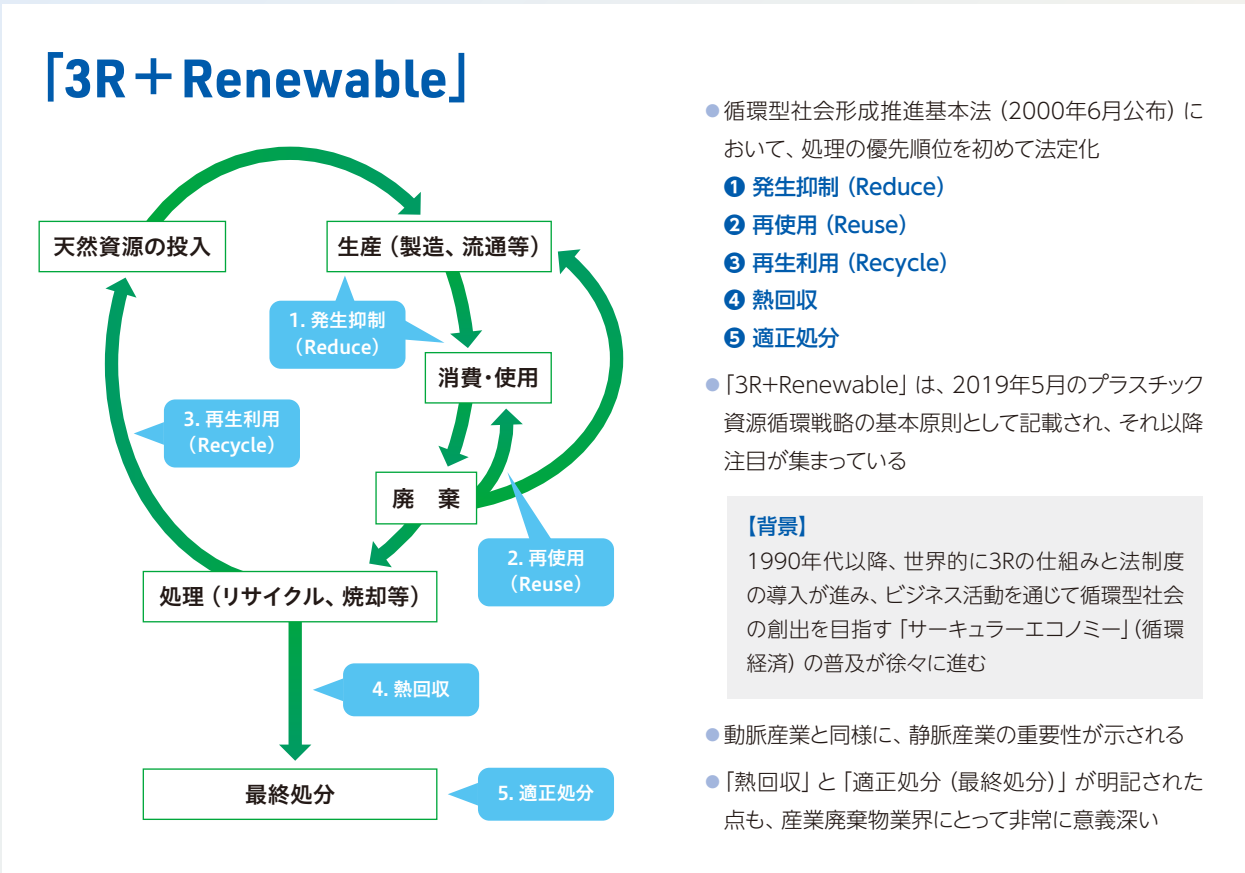
▶産業廃棄物業界の全体像



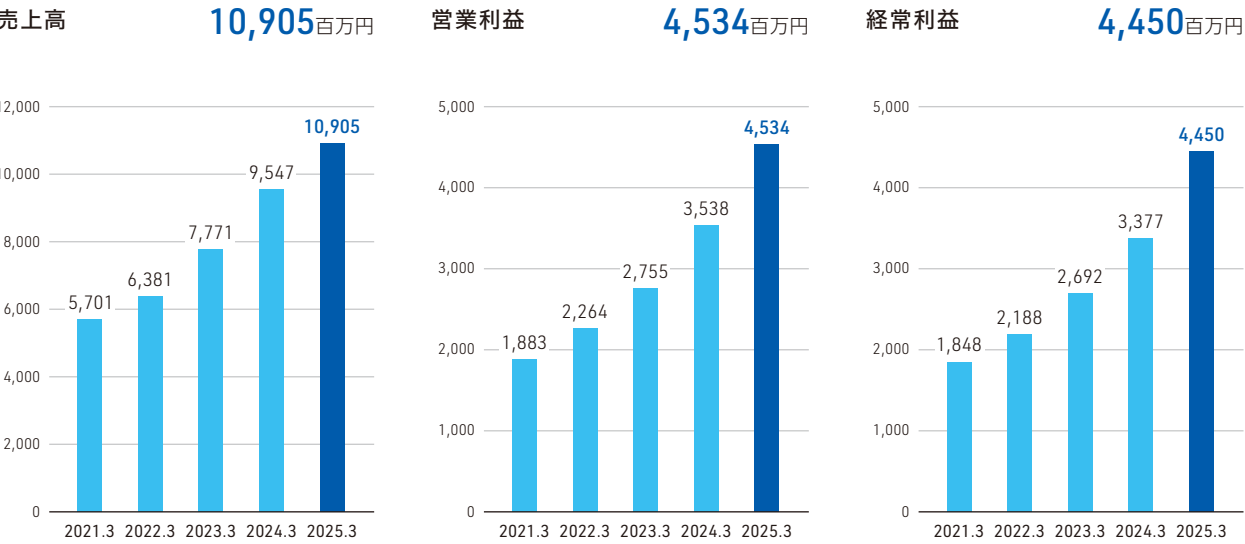
▶最終処分の現状と今後



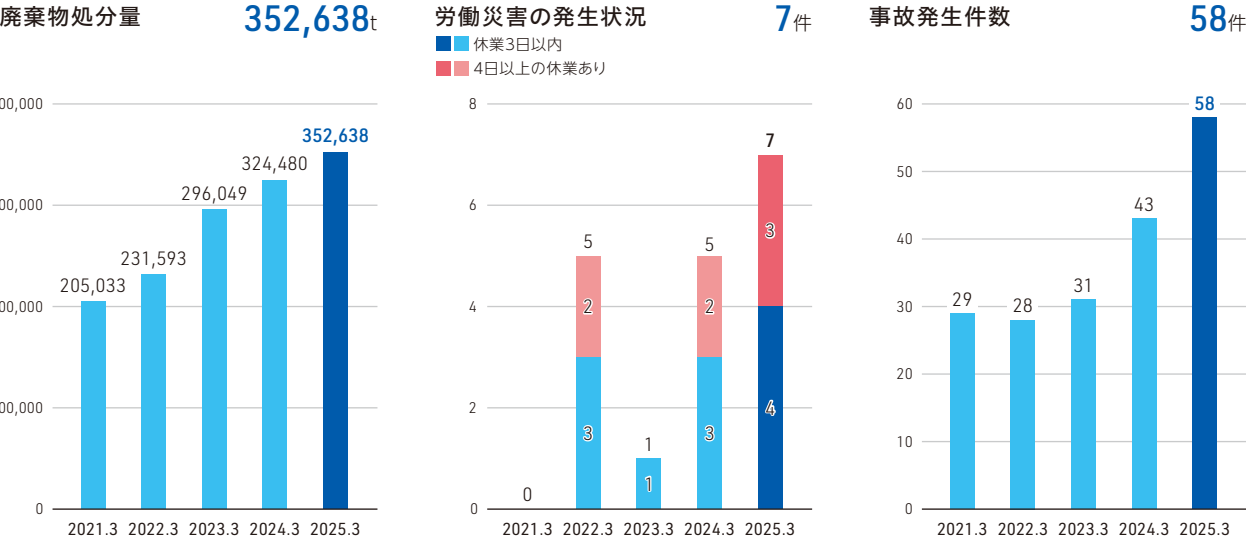
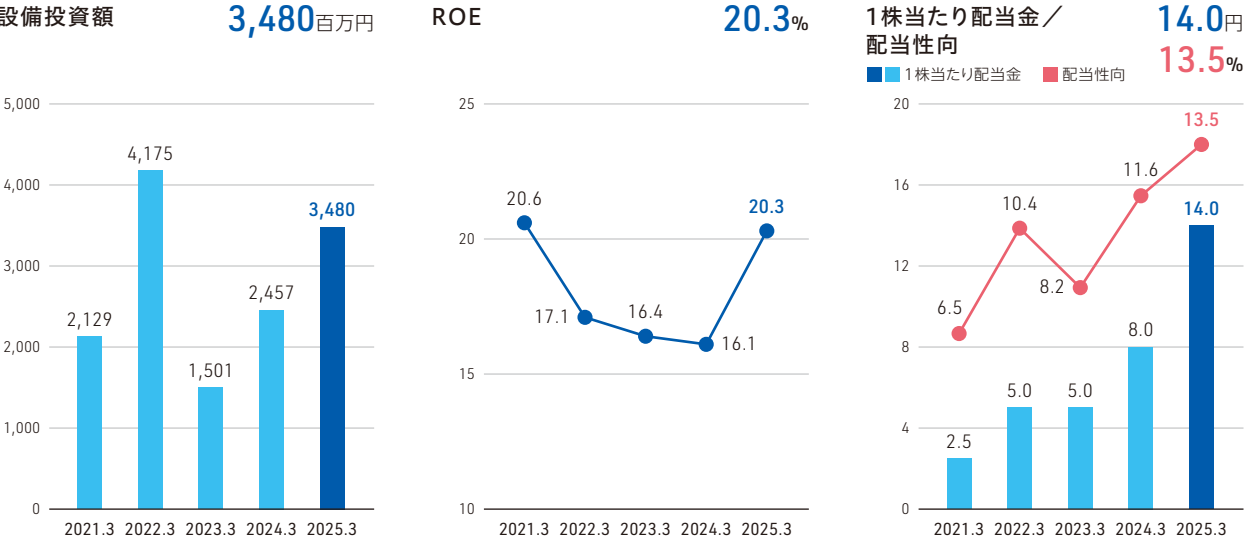
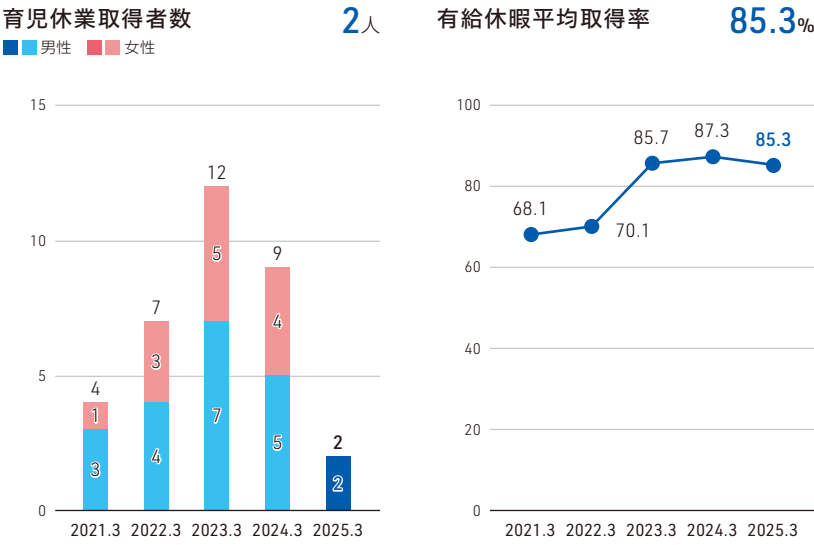
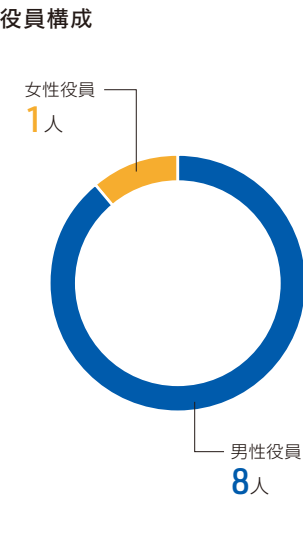
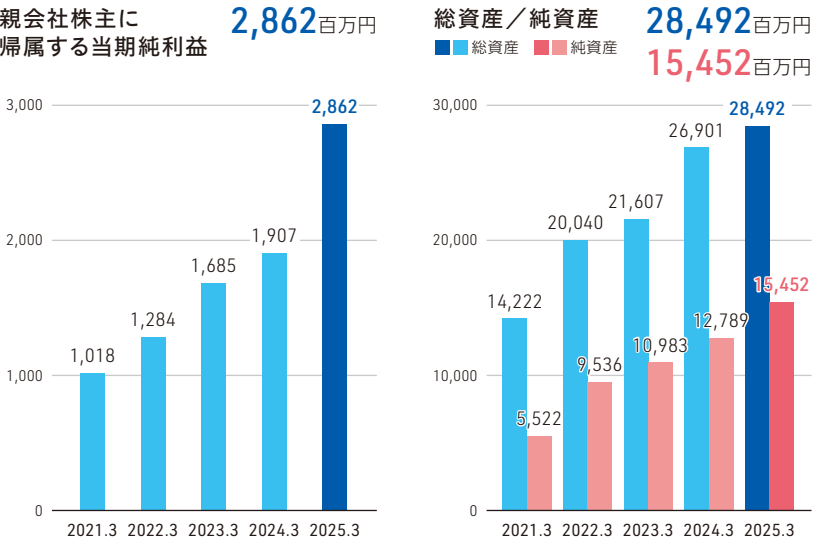
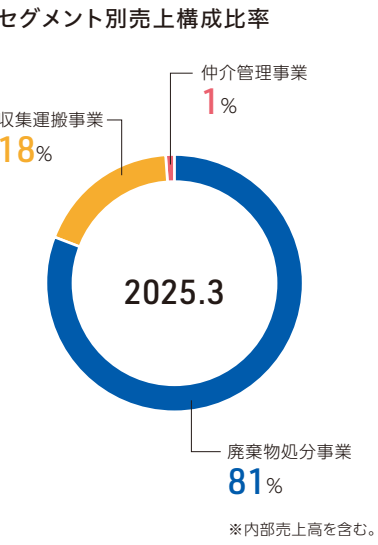
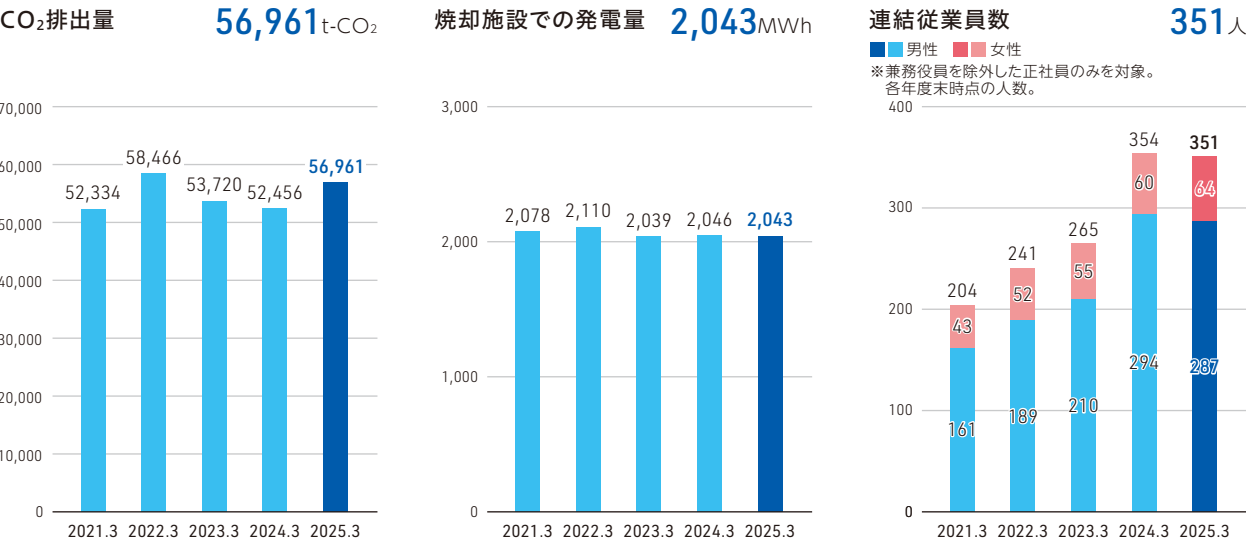
▶循環型社会形成推進基本法に基づく新たな仕組み



財務ハイライト



非財務ハイライト



		2016.3	2017.3	2018.3		2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3
財務情報（連結ベース）												
業績関連指標												
売上高	(百万円)	3,164	3,833	4,244		4,676	5,213	5,701	6,381	7,771	9,547	10,905
EBITDA	(百万円)	594	1,181	1,484		1,731	2,171	2,513	2,933	3,560	4,467	5,513
EBITDAマージン	(%)	18.8	30.8	35.0		37.0	41.6	44.1	46.0	45.8	46.8	50.6
営業利益	(百万円)	355	590	883		1,098	1,495	1,883	2,264	2,755	3,538	4,534
売上高営業利益率	(%)	11.2	15.4	20.8		23.5	28.7	33.0	35.5	35.5	37.1	41.6
経常利益	(百万円)	326	590	839		1,090	1,446	1,848	2,188	2,692	3,377	4,450
売上高経常利益率	(%)	10.3	15.4	19.8		23.3	27.7	32.4	34.3	34.6	35.4	40.8
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	46	287	492		567	795	1,018	1,284	1,685	1,907	2,862
キャッシュ・フロー関連指標												
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	354	1,057	990		1,317	1,651	1,773	1,807	2,849	2,653	4,174
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 3,196	△ 268	△ 252		△ 1,782	△ 1,474	△ 2,063	△ 3,908	△ 2,243	△ 2,845	△ 3,470
フリー・キャッシュ・フロー	(百万円)	△ 2,842	789	738		△ 465	177	△ 290	△ 2,101	606	△ 192	704
設備投資額	(百万円)	3,522	305	310		1,845	1,321	2,129	4,175	1,501	2,457	3,480
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	3,363	△ 555	△ 309		362	1,778	827	3,700	39	2,263	△ 1,376
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	1,241	1,475	1,903		1,801	3,756	4,293	5,894	6,540	8,611	7,939
財務関連指標／経営指標												
総資産	(百万円)	7,947	7,781	8,075		9,164	11,919	14,222	20,040	21,607	26,901	28,492
負債合計	(百万円)	6,770	6,353	5,927		6,911	7,537	8,699	10,503	10,623	14,111	13,040
有利子負債残高	(百万円)	5,452	4,935	4,381		5,229	5,803	6,704	7,704	8,029	10,257	9,323
純資産	(百万円)	1,177	1,427	2,170		2,252	4,382	5,522	9,536	10,983	12,789	15,452
自己資本比率	(%)	14.8	18.3	26.8		24.6	36.8	38.8	47.6	50.7	47.4	54.1
投下資本利益率【ROIC】	(%)	0.8	4.5	7.9		7.6	8.1	8.2	7.7	9.6	8.6	11.8
自己資本当期純利益率【ROE】	(%)	4.0	22.0	27.4		25.6	24.0	20.6	17.1	16.4	16.1	20.3
株主還元関連指標												
1株当たり純資産	(円)	49.07	59.50	83.77		92.00	166.29	207.58	345.62	397.26	461.33	557.28
1株当たり配当金	(円)	1.5	1.5	1.5		1.9	2.5	2.5	5.0	5.0	8.0	14.0
株主資本配当率【DOE】	(%)	3.0	2.5	1.8		2.1	1.5	1.2	1.4	1.3	1.7	2.5
配当性向	(%)	80.2	12.9	7.6		8.8	7.9	6.5	10.4	8.2	11.6	13.5
非財務情報（連結ベース）												
総従業員数	(名)	184	187	180		188	193	204	241	265	354	351
女性管理職比率	(%)	12.9	10.8	10.8		10.8	9.5	8.9	7.5	5.8	7.8	

